

平成 26 年度の博物館見学実習について

宮内 垂宜

九州保健福祉大学学芸員養成課程では、毎年、4 年次生が行う博物館館園実習（学外実習）のほかに、3 年次生による博物館見学実習を行っている。本年度は平成 26 年 10 月 25 日に実施し、3 年次生 8 名が参加した。見学先は宮崎県総合博物館と宮崎県立西都原考古博物館であった。

宮崎県総合博物館では、まず博物館敷地内にある民家園を見学した。民家園ではボランティアの方々から宮崎県のような地方における独特な建築様式の説明を受けるとともに、移築復元された古民家内での生活の様子を体験した。

その後、総合博物館本館に移動し、職員の方に博物館の概要を説明していただいた後、収蔵庫の見学を通じて展示物の保管施設、保管状況について勉強した。本館では、自然史展示室、歴史展示室、民俗展示室、みんなの情報室等があり、見学時には



写真 1：古民家での生活を体験する（民家園）



写真 2：収蔵庫で説明を受ける（宮崎県総合博物館での見学）

『どんぐりとまつぼっくり』の特別展が開催されていた。本実習では、学生達の多くが特に興味を持っている自然史展示室を主に見学した。自然史展示室では、解説員の方に解説を受けながら展示物を閲覧することができた。

午後からは宮崎県立西都原考古博物館の見学を行った。最初に職員の方より、博物館内のユニバーサルデザインに考慮した設備の説明を受けた後、収蔵庫と館内研究施設を案内していただき、出土品の扱いと管理について勉強した。その後、展示施設内を自由に見学した後、西都原考古博物館が行っている体験講座（考古学体験、製作体験、野外活動）について質疑応答を行い、実習を終了した。

本実習は学生達にとって、博物館の展示施設の裏側と展示物の保管方法、展示の工夫や解説方法を体験して学ぶ良い機会となったであろう。本実習で学んだ博物館における展示方法を考慮して、来年度に開催する企画展示での創意工夫に繋げてもらえれば幸いである。



写真3：出土品の解説を受ける
（宮崎県立西都原考古博物館での見学）



写真4：体験講座について質疑応答をする（宮崎県立西都原考古博物館での見学）